

令和5年12月12日

保護者様

京都市立上賀茂幼稚園  
園長 村山 得太郎

## 幼稚園評価の結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本園の保育・教育にご支援ご協力賜りありがとうございます。2学期もあと少しとなり、様々な行事で子どもたちは成長してくれたと思います。保護者の皆様におかれましては、運動会や秋祭りなど大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

さて、10月の運動会後に実施しました幼稚園評価にご協力いただき、ありがとうございます。大変遅くなりましたが、評価アンケートの結果は、グラフ化し別紙にまとめましたのでご覧ください。分析につきましては、学校運営協議会の皆様にもご意見をお聞きし、領域ごとに行いました。ただ、アンケートの母数が少ないので、分析は%などの割合で行うより、意見を書いていただく方がいいのではないかとのご指摘もありました。次回は記述も増やしていきたいと思っています。

### 【子どもの様子】

◆幼稚園の保育を通して身に付けてほしい力の中で6項目の様子をお尋ねしました。ひよこ組を除くとほぼ100%がAとBの評価でした。3歳から4歳でお友達との関わりが密になっていく様子がわかります。幼稚園としては、子どもたちが毎日楽しく生活し、「明日もたくさん遊びたい」という思いをもっていることをとてもうれしく思います。多くのお友達や教職員と遊び、自分でやってみようとしたり、お友達と相談してやってみたりしながら、多くのことを学んでいます。遊びの経験を通して、感動したり、その思いを伝えたり、人やものを大切にしたりする力がついていっていると思います。そして、やる気や主体性などが育っていると思います。これからも、一人一人の子どもに寄り添いながら、子どもたちが安心して過ごせるように、そしてイメージを広げて遊べるように援助していきたいと思っています。

### 【幼稚園の取組】

◆すべての項目において、「そう思う」、「だいたいそう思う」の回答を合わせてほぼ100%の評価をいただきました。保育について評価していただいていることはとてもありがたいことだと思います。しかし、日々変わっていく子どもの様子や反応を考えると保育の研究に終わりはありません。（先生としての仕事の難しいところでもあり、醍醐味でもあります。）まだまだ至らぬことや改善点があると思います。保育の内容についても研修を重ねることで、回答の結果に甘んじることなく、毎日子どもの心に届くよう丁寧に保育をしていきたいと思っています。保育の在り方、子どもたちの様子、子育てで気になることや困っていることなどがありましたら、遠慮なく相談してください。保護者の皆さんと幼稚園とが協力し合って子どもたちを育てていきたいと考えています。

### 【家庭での取組】

◆ご家庭での丁寧な関わりや細やかな声かけの様子が伝わってきました。ご家庭での安定した様子が、幼稚園での生活の支えになっています。今後ともよろしくお願いいたします。また、誕生日会の後の園長カフェで話題になることが多いのは、食べ物の好き嫌いです。なかなか、素直には口に入れてくれないので、様々な工夫をして取り組んでおられます。先日の幼稚園PTA連絡協議会研修会で講師の先生が、「無理に食べさせなくても、子どもは何かしら食べて大きくなっていくものです。」「大切なのは、食べさせることで気持ちがいっぱいになるあまり、ストレスをためてしまうことがないようにすることです。」とおっしゃいました。（なるほど、自分の子どもも野菜はほとんど食べないまま大きくなってきました。小学校・中学校の給食はありがたかった。）あきらめずに工夫や声かけを続ける必要はあると思いますが、ストレスをためない範囲で取り組んでもらうことや保護者同士のつながりで工夫を伝え合うことができればいいのではないかなと思います。

### 【地域や学校との連携】

◆それぞれの項目で「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を合わせて90%以上でした。今年度も年長児が上賀茂こども園の園児さんとともに小学校の様々な学年の児童と交流活動を実施することができました。また、上賀茂小学校の1年生が幼稚園の砂場で学習したり、ウサギの観察に來たりしてくれました。ウサギだけで元町小学校に貸し出すということもありました。また、加茂川中学校、西賀茂中学校の2年生がチャレンジ体験に來てくれました。さらに今年度初めて加茂川中学校3年生が家庭科の保育実習で來てくれました。子どもたちはお兄さんお姉さんと遊ぶのが大好きでとても喜んでいました。中学生も学校では見せない表情が見られたらしく、お互いにいい経験になったと思います。地域行事も4年ぶりに学区民夏祭りが再開され、任意参加ですが、ステージ発表の場を提供していただきました。幼稚園PTAもスーパーボールすくいのブースで参加し、大盛況でした。

次年度の小中連携の計画について、小学校と相談をしているところです。「架け橋プログラム」（就学前の5歳児と小学校1年生の2年間を今後の学びに重要な時期であるという位置づけで「架け橋期」といいます。）の研究が始まり、本園と上賀茂小学校もできることから連携を進めて行きたいと思っています。子どもたち同士の交流から教職員合同での研修などに発展すればありがたいと思っています。

◆自由記述欄につきまして、様々なご意見・ご質問ありがとうございました。今後の園運営の参考にさせていただきます。また、ご質問等に関しましては、個別にお答えさせていただきます。今後ともお気づきの点がございましたら、登降園の際、お話していただくか、アプリのメールでご連絡ください。よろしくお願いいたします。

★学校評価を行う理由（京都市教育委員会ホームページより）…社会情勢や子どもを取りまく環境が多様化・複雑化している現代において、学校だけでなく、保護者・地域の方々が子どもを育む当事者として、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみの教育を進めることが不可欠です。「学校評価」は、学校・家庭・地域が自らを振り返り、子どものためにできることを考え、共に行動するきっかけとするものです。このことが、地域ぐるみで子どもを育てることに繋がるのです。